

厳しい寒さが続いた今年の冬でしたが、3月に入りようやく春の気配を感じることができます。校内の木々たちも日々明るさを増していく日差しの中芽吹き準備を進めています。あと3週間もすれば正門の桜、中庭の桜が新しい歴史と思い出を刻んでいくことでしょう。

さて、本日、ここに大阪府立寝屋川高等学校第65回卒業証書授与式を挙行致しましたところ、多くのご来賓の方々にご臨席を賜り、巣立ち行く65期の若人の門出を祝福していただきますことに、高いところからではございますが、厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。皆さんのご紹介は後ほど司会者よりさせていただきます。どうぞご了承ください。

保護者の皆様には、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。心からお慶び申し上げます。お子様の晴れやかな姿をご覧になって、喜びもいばかりかと拝察申し上げます。

入学以来、私たち教職員は全力をあげて生徒の指導にあたってまいりました。ここに卒業を迎えることは保護者の皆様同様に大きな喜びでございます。3年間本校の教育活動にご理解、ご支援を頂き、支えて頂いた保護者の皆様に改めて心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます

さて、ただいま65期生、394名の皆さんに卒業証書を授与致しました。

改めて卒業生の皆さん卒業おめでとうございます。本日をもってこの寝屋川高校での学業を終え、それぞれの新たな進路を歩み始めることになりました。

君たちを待っているのはグローバルな活躍のフィールドです。世界中の70億人の俊才と競い合い、協力し合いながら成長していく君たちを頼もしく、また誇りを持って送り出せることは大きな喜びです。

卒業式に当たって、ゴール、成功と失敗、そして選択ということについて4人の方の言葉を中心に語りたいと思います。

最初に紹介するのはユニクロの創業者柳井正さん。幾度か全校集会で紹介したカリスマ経営者。今や日本一の衣料品小売業ユニクロの創業者であり、経営トップです。そのユニクロの売上高が今年1兆円を超えます。そうした節目もあって『引退』に関する質問もよく出るそうです。その都度、柳井社長の言葉はいつも同じ。『まだ世界一じゃない』。ゴールのない人生はつまらないし、もろいものです。皆さんにはゴールを定め、そこに向かって努力を重ねていく生き方を伝えてきました。しかし、『ゴールはひと

つじゃない』。ひとつのゴールに到達すればまた次のゴールを見つめスタートを切る、その繰り返しです。おそらく柳井社長も実家の洋装店から創業した当初はひとつの事業を軌道に乗せることが目標だったことでしょう。それがユニクロの創業、日本一の衣料品小売業そして売上1兆円へ世界一の実現と夢を膨らませ、ゴールを定めていかれたのでしょ

同じようなことを福原愛さんも語っています。3歳で卓球を始めた天才少女の夢はオリンピックでメダルを獲得することでした。努力が実ってロンドンオリンピックでは女子卓球団体戦で銀メダルを獲得し、夢を叶えました。帰国後の彼女がインタビューに答えた言葉に驚きました。『夢はなくなりました。あとにあるのは目標と課題だけです』。これから彼女がどんな目標を見据え、課題を克服し成長していくのかが楽しみです

『成功は次の成功へのステップ』

そして『まだ世界一じゃない』

もちろんゴールを目指す皆さんを待ち受けるのは成功ばかりではないでしょう。つらい失敗や厳しい局面にも立ち向かわなければならぬことでしょう。『失敗は成功への足がかり』。そんな強い歩みを決して止めないでください。女子サッカーなでしこジャパンの佐々木則夫監督が『成功の反対は失敗ではなく、何もしないことだ』と言われています。皆さんに3年間伝え続けたヤングマインドの精神をいつまでも忘れないでください。

『失敗は成功への足がかり』

そして『トライアル&エラー』

最後に紹介するのは阿井英二郎さんのことです。御存じですか。阿井さんは元プロ野球のピッチャーとして活躍しましたが、故障もあって1992年に現役を退き、1997年には高校教員免許を取得し、高校野球の指導者に転身しました。今増えつつあるプロアマ交流の先駆者です。高校野球でも県大会ベスト4のチームを育てるだけでなく、選手の育成では最高の評価を得る指導者として活躍されていました。その阿井さんが今年から栗山監督の求めに応じて北海道日本ハムファイターズの一軍ヘッドコーチとしてプロ球界に20年ぶりに復帰します。高校野球で築いてきた基盤、ブランクの長さを考えると大きな決断だったことでしょう。阿井さんも正直に難しい決断で迷ったと認めています。決断のポイントは『迷ったときは勇気のいる方を選ぶ』でした。そのような選択の仕方が彼を一流に導いてきたのだと思います。選択、決断に迷えば、難しい方、勇気のいる方を選ぶ、そしてその選択を成功へ導くものは選択の仕方ではなく、その後の弛まない努力。これも『 YOUNGMIND 若き心 今日新しく 』の精神です。

『迷った時ほど勇気がいる道を選べ』
そして『努力に勝る天才なし』

君たちが皆、この母校、寝屋川高校で学んだ志、専門力、コミュニケーション力の基礎の上に様々な知識と経験を積み、絶え間ない成長を重ね、それぞれの、いくつものゴールを超えていく活躍を確信しています。

さて、私ごとで恐縮ですが私も今年度一杯で『卒業』です。前任の泉北高校で4年、そして伝統の寝屋川高校に赴任して5年間、本当にお世話になりました。寝屋川高校では、65分授業の実施、GC・GSの二つのコース制導入、そして最先端のICT機器を用いたビジュアル授業など思い切った改革を断行することができました。能力に満ち溢れ、努力を惜しまない素直な寝屋高生に囲まれ、生徒のためならば自らを擲って頑張ってくれる先生方にも支えられ、学校の良き理解者であり協力者でもある保護者、OBにも多大な応援を頂き、充実した悔いのない校長生活を送ることができました。幸い、65期生の進路実績は途中経過ではありますが、めざましい伸びが見込める状況です。高いところからではございますが厚く御礼を申し上げます。

最後に毎朝、正門で君たちにかけて続けた『あいさつ』を送ります。9年間、延べ150万回以上生徒たちに掛け続けた朝の挨拶です。君たちもいつもの通りのあいさつを返してください。

『おはよう』
(『おはようございます』)
ありがとうございました。

さていよいよ旅立ちです。真・善・美の魂を胸に刻んで力強く歩いてください。
394名一人ひとりの可能性に満ち溢れた人生に幸多かれと祈り、グローバルな世界で皆が21世紀のコスモポリタンとして飛躍する勇姿を夢見て、お祝いの言葉とします。

平成 25 年 3 月 2 日
大阪府立寝屋川高等学校
校 長 秦 寿 孝